

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.173

2016年9月29日

発行所 兵庫教育文化研究所
〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

いろいろな家族の形があるんだね

ジェンダー平等(男女共生)

教育部会 授業研究会

三田市の小学校で、ジェンダー平等(男女共生)教育部会の研究授業がおこなわれました。4年生の道徳の授業でした。

まず、絵本の読み聞かせからスタートしました。『タンタンタンゴはパパふたり』という絵本で、「ロイ」と「シロ」というオスどうしでペアになったペンギンたちが楽しそうに子育てをする話です。みんな物語に集中して、担任の問いかけにもよく反応していました。

子どもたちは、物語から「ロイとシロはオスどうしだから卵が生まれにくい」けど、「オスどうしでも他のペアと同じように子育てはできる」ことを読み取り、活発に発表していました。



そしてその後、人間の家族の形について意見を出し、話し合いました。子どもたちは、様々なメディアからの情報を実によく知っており、また、各家庭での話題にもなっていることが、発表からよくわかりました。中にはテレビに出演しているタレントのイメージから、ふざけたり否定的な発言をしたりする子もありましたが、全体的には、実話をもとにした絵本でオスどうしのペアを肯定的に受け止めていた分、人間の場合のいろいろな家族の形についても、肯定的なイメージを持つことができる授業となりました。

授業後の研究会でも、様々なメディアの影響による、性的マイノリティに対するマイナスイメージについて話がありました。授業の中では「お仕事として、笑ってもらおうとしている人は別。普段の生活ではそういう(マイナスの)発言はダメ」とはっきり指導されましたが、すべてのおとながそういう話をしなければならないと共通理解しました。また、今回は4年生での授業でしたが、生物の受精について学んだ高学年でも、思春期の中学生でも、逆に絵本に入り込める低学年でも、その学年にあったやり方で授業できる教材であるので、こうして実践しながら広げていこうという話も出ました。文部科学省の資料は相変わらず「三世同居で子どもふたり」とステレオタイプな家族像から抜け出せない中、学校現場でこういう授業を続けていこうと確認して、授業研究会を終えました。